

「臨床外科」 第 43 巻 総目次

1988 年 (第 1 号～第 13 号)

数字は通巻頁, () は号数を示す.

〔特 集〕

臓器移植の up to date '88

腎臓移植

岡 隆 宏・相川 一郎…………… 17(1)

Up to date の肝臓移植

岡 村 純・門田 守人・後藤 満一

森 武 貞…………… 27(1)

心臓移植の現況

小 柳 仁・平田 欽也・北村 昌也

江石 清行・遠藤 真弘・橋本 明政… 33(1)

脾臓移植

出月 康夫…………… 39(1)

免疫抑制法の進歩

内田 久則・横田 和彦・刑部 恒男

中山 義介・佐藤 光史・遠藤 忠雄

大久保充人・渡部 浩二…………… 45(1)

組織適合性検査の実際

辻 公 美・松野 直徒…………… 57(1)

集中治療を要する術後合併症

急性心不全

渡 辺 直・遠藤 真弘…………… 149(2)

急性呼吸不全

原口 義座…………… 165(2)

急性肝不全

川原田嘉文・野 口 孝・横 井 一

吉峰 修時…………… 181(2)

急性腎不全

平澤 博之・菅井 桂雄・大竹 喜雄

稲葉 英夫・田畑陽一郎…………… 193(2)

DIC

初瀬 一夫・望月 英隆・玉熊 正悦… 203(2)

肺塞栓症

東海林哲郎・堀 川 大・土田めぐみ

金子 正光…………… 215(2)

手術と輸血—最近のトピックス—

Editorial: 手術における血液製剤投与の新

しい考え方

遠 山 博…………… 301(3)

血液製剤の種類—製法, 特性, 用途—

坂本 久浩…………… 305(3)

外科手術における血液製剤の使い方—全血,

濃厚赤血球, 新鮮凍結血漿, アルブミン,

血小板—

湯浅 晋治…………… 321(3)

輸血と HLA

松木 一雅・十字 猛夫…………… 331(3)

輸血と肝炎

片 山 透…………… 337(3)

輸血と ATL, AIDS

前田 義章・深田 謙二・中野 康子… 345(3)

手術と自己輸血

高折 益彦…………… 351(3)

人工血液—とくに修飾ヘモグロビン溶液につ

いて—

関口 定美・伊藤 敬三…………… 357(3)

外科診療における酸塩基平衡の異常

酸塩基平衡: データの評価

諏訪 邦夫…………… 443(4)

診断と治療の実際—呼吸性の異常

三毛 紀夫・島田 康弘…………… 453(4)

診断と治療の実際—代謝性の異常

大村 昭人…………… 459(4)

診断と治療の実際—熱傷

前川 和彦・杉本 勝彦・高橋 真理… 467(4)

診断と治療の実際—腎不全

上田 大介・田 島 惇…………… 475(4)

診断と治療の実際—小児

藤原 孝憲…………… 483(4)

急性腹症の X 線像・エコー像

Editorial: 急性腹症

出月 康夫…………… 578(5)

急性腹症: 腹部 X 線写真の撮り方・読み方

蜂須賀喜多男…………… 581(5)

急性腹症: 超音波検査の進め方・読み方

三谷 正信・平田健一郎・金子 正光

福田 守道…………… 589(5)

消化管穿孔の X 線像・エコー像

吉中 平次・島津 久明…………… 595(5)

イレウスの X 線像・エコー像

池永 達雄・沢田 寿仁・大前 利道	
鈴木 規之	603(5)
急性胆嚢炎のX線像・エコー像	
安田 秀喜・高田 忠敬・内山 勝弘	
長谷川 浩・四方 淳一	609(5)
急性膵炎・膵石症のX線像・エコー像	
跡見 裕・森 俊行・黒田 慧	
森岡 恭彦	617(5)
腹部血管病変のX線像・エコー像	
安田 慶秀・田辺 達三	623(5)
腹部外傷のX線像・エコー像	
真栄城優夫	629(5)
小児急性腹症のX線像・エコー像	
内山 昌則・岩 渕 眞・大沢 義弘	
広田 雅行・内藤 真一・広川 恵子	635(5)
泌尿器疾患のX線像・エコー像	
斎藤 雅人	646(5)
婦人科疾患のX線像・エコー像	
杉本 修・福田 吉彦・亀谷 英輝	655(5)
そこが知りたい	
消化器外科手術のテクニックとコツ 96	
【食 道】	
両側頸部リンパ節郭清の範囲と手技	
鶴丸 昌彦	708(6)
食道癌・頸胸境界部のリンパ節郭清の進め方	
松原 敏樹	711(6)
食道癌・上縦隔リンパ節の郭清	
松原 敏樹	714(6)
胸部食道癌根治手術における横隔膜リンパ節	
(No 111), 後縦隔リンパ節 (No 112) の郭清	
佐々木公一	717(6)
非開胸食道拔去	
鶴丸 昌彦	720(6)
反回神経温存	
鶴丸 昌彦	722(6)
後縦隔経路による再建臓器の挙上	
阿保七三郎	724(6)
結腸による食道再建	
武藤 輝一	727(6)
大彎側胃管の作成法	
田中 乙雄	730(6)
有茎空腸による食道再建	
平山 克・西平 哲郎・森 昌造	732(6)
遊離空腸移植による頸部食道再建	
波利井清紀	736(6)
皮弁による食道再建	

波利井清紀	738(6)
術後吻合部狭窄の手術的修復	
磯野 可一・碓井 貞仁	741(6)
経胸的食道離断	
二川 俊二・渡辺 勇	744(6)
胃上部下部食道の血行遮断	
三條 健昌・出月 康夫	747(6)
食道アカラシア筋切開	
磯野 可一・碓井 貞仁	750(6)
EEA ステープラーによる食道離断	
三條 健昌・出月 康夫	752(6)
【胃・十二指腸】	
食道浸潤噴門癌の胸腹連続斜切開	
掛川 暉夫・橋本 謙	756(6)
食道浸潤噴門癌に対する非開胸経腹的横隔膜	
切開アプローチー吊り上げ式開腹鉤と腸管	
自動吻合器を用いてー	
吉野 肇一	759(6)
左腎・膵・脾転転による No 9, No 16 左上の	
リンパ節郭清	
愛 甲 孝・島津 久明	762(6)
脾温存・脾摘による No 10, No 11 胃癌リン	
パ節郭清	
丸山 圭一	765(6)
肝・十二指腸間膜内リンパ節の郭清	
榊原 宣・ト部 元道・劉 星漢	768(6)
微粒子活性炭 CH40 を用いた胃癌リンパ節	
郭清術	
高橋 俊雄・沢井 清司	771(6)
膵体尾・脾合併切除の膵断端縫合閉鎖法	
岩 永 剛・小山 博記・今岡 真義	
古河 洋・平塚 正弘	774(6)
胃全摘後の回・結腸による再建	
小玉 正智・柴田 純祐	776(6)
噴切後の再建	
古賀 成昌	780(6)
幽門形成・ミクリッツ法	
二川 俊二・渡辺 勇	782(6)
選迷切兼幽門洞切除術ー胃内容停滞防止を目	
的とした工夫ー	
白鳥 常男・村田 省吾・金泉 年郁	784(6)
逆流性食道炎に対する Nissen 手術の変法	
ーFloppy Nissen fundoplicationー	
三隈 厚信・村上 明利・原田 和則	
赤木 正信	786(6)
十二指腸潰瘍手術断端処理困難時の対処	

愛甲 孝・帆北 修一・島津 久明	788(6)
器械吻合による食道・空腸吻合	
愛甲 孝・島津 久明	791(6)
【小腸・大腸】	
Crohn 病の狭窄部拡大術	
福島 恒男	796(6)
直腸癌手術の側方リンパ節郭清	
小平 進	798(6)
下腹神経および仙骨神経叢の確認, 温存	
福島 恒男	801(6)
下部直腸癌に対する肛門括約筋温存・肛門吻合法	
北條 慶一	804(6)
低位前方切除術における器械吻合の手技	
進藤 勝久・安富 正幸	807(6)
人工肛門造設	
穴沢 貞夫・桜井 健司	801(6)
Ileal conduit 作成時の尿管回腸吻合の手術	
梅田 隆	814(6)
潰瘍性大腸炎の回腸肛門吻合術—W 嚢形成—	
畠山 勝義・武藤 輝一	816(6)
潰瘍性大腸炎に対する全結腸切除, 直腸粘膜切除, 回腸肛門吻合術—J 嚢形成法—	
宇都宮讓二	819(6)
空置式回腸肛門 (Diverting ileostomy) の手技	
宇都宮讓二・太田 昌資	822(6)
骨盤内臓全摘時における Santorini 静脈叢切離	
北條 慶一	825(6)
骨盤内臓器全摘術時の両側尿管吻合—尿管皮膚瘻造設—	
浜野 恭一・亀岡 信悟	828(6)
【肝 臓】	
肝切除のための開腹法と肝遊離	
幕内 雅敏・三村 哲重	832(6)
肝門部脈管剝離	
幕内 雅敏・三村 哲重	835(6)
グリソン—束処理による肝切除	
高崎 健	838(6)
肝静脈の処理	
高崎 健	840(6)
肝組織切離	
小澤 和恵・徳永 行彦・山岡 義生	843(6)
後区域切除術	
小澤 和恵・財間 正純・山岡 義生	846(6)
尾状葉切除	
高山 忠利・幕内 雅敏	848(6)

亜区域描出法(色素による), 支配(栄養)門脈の発見, 処理法, 切除	
高山 忠利・幕内 雅敏	851(6)
CUSA, マイクロターゼの使い方	
小山 研二・小玉 雅志	854(6)
肝動脈内注入化学療法—血管, カテーテル, ポンプの選択—	
三浦 健・灰田 公彦	857(6)
肝嚢胞の手術	
小山 研二・小玉 雅志	860(6)
肝部下大静脈閉塞症の膜破碎, 血栓摘出	
田辺 達三・加藤 紘之	863(6)
肝内結石症に対する肝切除—胆管病変, 狭窄部の処理	
川口 英弘	866(6)
【胆 道】	
良性胆管狭窄の手術—胆道再建—	
中山 和道	870(6)
良性胆管狭窄の手術—バイパス術; 胆管空腸側々吻合術 Roux-en-Y 型—	
中山 和道	872(6)
合流部結石の手術	
中山 和道	874(6)
乳頭形成術	
鈴木 範美・新谷 史明	875(6)
旁乳頭憩室の処理	
鈴木 範美・伊勢 秀雄	878(6)
胆管癌に対するリンパ節郭清	
吉田 奎介・川口 英弘・武藤 輝一	881(6)
肝門部胆管切除, 肝門部胆管空腸吻合	
川原田嘉文	885(6)
血管切除を伴う肝門部胆管癌手術	
尾形 佳郎・菱沼 正一	889(6)
胆嚢癌に対する肝区域合併切除	
田代 征記	892(6)
胆嚢癌に対する肝床・胆管合併切除術	
吉田 奎介・川口 英弘・武藤 輝一	896(6)
脾・胆管合流異常を伴う先天性胆道拡張症に対する胆管切除—特に胆管末端部の処理—	
戸谷 拓二・漆原 直人	900(6)
慢性胆嚢炎に対する肝床からの胆嚢剝離	
伊藤 徹	904(6)
T チューブドレナージの手技	
伊藤 徹	906(6)
【脾 臓】	
脾頭十二指腸切除術における脈管剝離—門	

脈, 上腸間膜静脈, 上腸間膜動脈, 胆管—	
尾形 佳郎・菱沼 正一……………	910(6)
臍頭十二指腸切除術の門脈合併切除	
高田 忠敬……………	913(6)
臍癌手術の上腸間膜動脈周囲郭清	
鈴木 敏・村上 卓夫……………	916(6)
臍癌手術, 拡大郭清	
永川 宅和……………	919(6)
臍頭十二指腸切除後の臍胃吻合	
三村 久……………	922(6)
臍頭十二指腸切除後の臍腸吻合	
加藤 紘之・田辺 達三……………	925(6)
臍頭十二指腸切除後の Billroth I 法に準ず る再建法—今永式再建術—	
森本 剛史……………	928(6)
臍頭十二指腸切除後の臍管空腸吻合	
鈴木 敏・水田 英司……………	932(6)
臍管乳頭形成術	
松野 正紀……………	934(6)
臍嚢胞内瘻化手術	
黒田 慧・森岡 恭彦……………	936(6)
臍頭神経叢切除	
若林 利重……………	940(6)
臍頭十二指腸切除後のドレナージ	
鈴木 敏・浜中裕一郎……………	942(6)
急性臍炎のドレナージ手術—臍授動兼臍床ド レナージ術—	
原田 昇・江藤 敏文……………	946(6)
【脾 臓】	
脾摘時の脾動静脈処理	
梅山 馨……………	950(6)
脾摘時の脾の後腹膜からの遊離	
梅山 馨……………	953(6)
巨脾の脾摘術	
三條 健昌・出月 康夫……………	957(6)
遠位脾腎静脈吻合術—特に脾静脈遊離のコツ と実際—	
加藤 紘之・田辺 達三……………	960(6)
【肛門部・その他】	
肛門周囲膿瘍に対する一期的根治手術	
隅越 幸男……………	964(6)
一次口不明の痔瘻手術	
隅越 幸男……………	966(6)
痔核の結紮切除手術—半閉鎖術式—	
荒川廣太郎……………	968(6)
痔核の結紮手術—肛門上皮およびクッション	

温存痔核根治術式—	
高野 正博……………	970(6)
腸管縫合—Albert-Lembert 縫合—	
吉田 紘一・渡辺 弘……………	973(6)
虫垂切除後のドレナージ	
若林 利重……………	978(6)
臍試験切除の手技	
伊藤 徹……………	980(6)
腹壁瘢痕ヘルニア手術	
若林 利重……………	982(6)
嵌頓ヘルニアの手術	
堀 隆・横森 欣司……………	984(6)
肥厚性幽門狭窄症の手術	
堀 隆・横森 欣司……………	987(6)
鼠径ヘルニアの診療	
鼠径部の局所解剖	
矢野 博道・小林 順一……………	1007(7)
乳幼児鼠径ヘルニア	
北村 享俊・菅村 靖・佐藤 恭信 宮内 勝敏……………	1015(7)
女児鼠径ヘルニアの特徴と治療	
秋山 洋・高松 英夫・野口 啓幸 田原 博幸・安達 康雄……………	1023(7)
成人鼠径ヘルニア	
黒須 康彦……………	1029(7)
高齢者鼠径ヘルニア—その問題点と治療のポ イント—	
大澤 二郎・東出 俊一・田中 誠 伊東 正文・白波 瀬功・網 政明 篠田 正昭……………	1039(7)
嵌頓ヘルニア	
三重野寛治……………	1049(7)
再発ヘルニア—原因と治療のポイント	
柵瀬信太郎……………	1057(7)
大腿ヘルニア	
饗場 庄一……………	1071(7)
多発外傷—初療 60 分—	
多発外傷の実態	
益子 邦洋・木村 昭夫・高橋 聡 大塚 敏文……………	1147(8)
救急処置の手順	
加来 信雄……………	1153(8)
多発外傷における治療上の問題点	
—頭頸部損傷—	
黒田 清司・古川公一郎・金谷 春之……………	1163(8)
多発外傷における治療上の問題点	

—胸部外傷—	
真栄城優夫……………	1169(8)
多発外傷における治療上の問題点	
—腹部損傷—	
茂木 正寿・吉井 宏・北野 光秀	
山本 修三・須藤 政彦……………	1175(8)
多発外傷における治療上の問題点	
—骨盤部外傷—	
田伏 久之・向仲 真蔵・上野 憲司	
中土 保・安田 之彦・小沢 幸人	
川嶋 隆久・甲斐 達朗……………	1185(8)
多発外傷における治療上の問題点	
—四肢損傷—	
水口 守……………	1191(8)
外傷後敗血症の原因と対策	
安田 和弘・大塚 敏文……………	1197(8)
消化器癌の相対非治癒切除	
Editorial	
小山 研二……………	1285(9)
胸部食道癌の相対非治癒切除—成績とその問題点—	
磯野 可一・奥山 和明……………	1287(9)
胸部食道癌の stage IV 症例とその相対非治癒切除について	
鶴丸 昌彦・秋山 洋・小野 由雅	
渡辺 五朗・宇田川晴司・鈴木 正敏……………	1293(9)
胃癌の相対非治癒切除—成績とその問題点—	
平塚 正弘・古河 洋・岩永 剛	
今岡 真義・福田 一郎・石川 治	
甲 利幸・佐々木 洋・小山 博記……………	1299(9)
胃癌の相対非治癒切除—成績とその問題点—	
鈴木 力・武藤 輝一・佐々木公一	
田中 乙雄・宮下 薫・西巻 正	
藍沢喜久雄・若桑 隆二・津野 吉裕	
曾我 淳……………	1307(9)
肝癌の相対非治癒切除—成績とその問題点—	
高山 忠利・幕内 雅敏・小西 宗明	
北口 浩・上坂 克彦・彌政 晋輔	
山崎 晋・長谷川 博……………	1317(9)
肝細胞癌の相対非治癒切除—成績とその問題点—	
横井 一・水本 龍二……………	1325(9)
胆道癌の相対非治癒切除—成績とその問題点	
伊藤 徹・出月 康夫・小管 智男	
柴山 和夫・若山 達郎・竹田 泰	
島田 和明・下村 一之・登 政和……………	1333(9)
胆道癌の相対非治癒切除—成績とその問題点	
角田 司・富岡 勉・土屋 涼一……………	1341(9)
膵癌の相対非治癒切除—膵周囲切離, 剥離面(ew) からみた検討—	
今泉 俊秀・羽生富士夫・吉川 達也	
中迫 利明・松山 秀樹・長谷川正治……………	1349(9)
膵癌の相対非治癒切除—成績とその問題点—	
石田 常之・山本 正博・大柳 治正	
斎藤 洋一……………	1357(9)
大腸癌の相対非治癒切除—成績とその問題点	
高橋 利通・大木 繁男・西山 潔	
土屋 周二……………	1365(9)
大腸癌の相対非治癒切除—成績とその問題点	
進藤 勝久・安富 正幸・八田 昌樹	
森川 栄司・久保 隆一・肥田 仁一	
松田 泰次・和田 富雄・相良 憲幸……………	1369(9)
高位胃潰瘍治療の問題点—外科から, 内科から—	
いま, なぜ高位胃潰瘍が問題なのか—その定義, 病態をめぐって—	
島津 久明……………	1427(10)
成績からみた治療法の問題点—その変遷と展望を中心に—	
榊原 幸雄・喜安 佳人……………	1435(10)
高位胃潰瘍治療の実際—外科から	
松原 要一・田宮 洋一・中村 茂樹	
武藤 輝一……………	1443(10)
高位胃潰瘍治療の実際—外科から	
佐々木 巖・内藤 広郎・舟山 裕士	
神山 泰彦・松野 正紀……………	1451(10)
高位胃潰瘍治療の実際—外科から	
杉山 貢・片村 宏・土屋 周二……………	1457(10)
高位胃潰瘍治療の実際—内科から	
西元寺克禮……………	1465(10)
高位胃潰瘍治療の実際—内科から	
小越 和栄……………	1473(10)
高位胃潰瘍治療の実際—内科から	
岡崎 幸紀……………	1479(10)
外科医のための MRI の臨床	
MRI の原理と装置	
飯沼 武……………	1569(11)
脳脊髄腫瘍	
小林 直紀・小野 由子・柿木 良夫……………	1577(11)
脳血管病変	
井上 佑一・福田 照男・八幡 訓史……………	1585(11)
心疾患の MRI	
西村 恒彦……………	1593(11)

MR-CT で描出可能な大血管病変

藤井 恭一・古川 達也・水野喜和子
松本 直人・原嶋 治彦……………1603(11)

肺・縦隔腫瘍

安河内 浩・奥畑 好孝……………1617(11)

肝・胆道系疾患

板井 悠二……………1625(11)

膝疾患の MRI

小西 淳二・中野 善久・西村 一雅
富樫かおり・伊藤 亨・藤澤 一朗
野間 恵之・南 俊介・左合 直
山下 敬司・柴田登志也・奥村 亮介
安里 令人……………1633(11)

骨盤領域の MRI

椎名 丈城・宇野 公一・三好 武美
有水 昇・井原 真都・斉藤 典男
更科 広美・奥井 勝二・守田 文範
植松 貞夫……………1641(11)

Drug Delivery System を利用した癌治療

Editorial

高橋 俊雄……………1713(12)

アンギオテンシン併用癌化学療法

涌井 昭・星 正彦……………1715(12)

リピドドールを用いたターゲティング療法

今野 俊光……………1723(12)

Degradable Starch Microsphere (DSM) の

臨床応用

藤本 茂・小池 正造・遠藤 文夫
橘川 征夫・水谷 正彦・奥井 勝二…1733(12)

マイクロカプセルを用いたターゲティング療法

加藤 哲郎・佐藤 一成・阿部 良悦…1741(12)

活性炭吸着抗癌剤

荻原 明於・高橋 俊雄・沢井 清司
岩本 昭彦・米山 千尋・近藤 慎治…1749(12)

抗癌剤封入リポソームを利用したターゲティ

ング療法

熊井浩一郎・高橋 孝行・壺内泰二郎
鈴木啓一郎・平畑 忍・石引 久弥
阿部 令彦……………1755(12)

癌細胞の抗原に対するモノクローナル抗体の

応用

谷内 昭・高橋 徹・今井 浩三…1765(12)

最近の話題—Immunotoxin

上田 政和・清水 信義・阿部 令彦…1771(12)

最近の話題—薬剤耐性とカルシウム拮抗剤

鶴尾 隆……………1775(12)

直腸癌の手術

経肛門的超音波断層法による情報

桂 禎紀・島津 久明・吉中 平次
山田 一隆・石沢 隆・政 信太郎
西俣 嘉人……………1851(13)

経仙骨的局所切除術の適応と手技

浜野 恭一・亀岡 信悟……………1861(13)

占居部位からみた合理的リンパ節郭清

磯本 浩晴・白水 和雄・山下 裕一
諸富 立寿・小島 敏生・中川喜一郎
平城 守・君付 博・掛川 暉夫…1869(13)

直腸癌に対する拡大郭清とその意義について

高橋 孝……………1879(13)

自律神経温存手術の手技と成績

福島 恒男・大木 繁男・大見 良裕
池 秀之・江口 和哉・土屋 周二…1887(13)

低位前方切除術

松田 泰次・安富 正幸……………1893(13)

腹仙骨式直腸切断術

戸部 隆吉・前谷 俊三・西川 俊邦…1905(13)

骨盤内臓全摘術の手技と成績

沢田 俊夫・北條 慶一・森谷 宜皓…1913(13)

〔臨床研究〕

腸骨動脈の狭窄病変に対する PTA の長期予後

浦口憲一郎・山名 一有・木下 寿彦
明石 英俊・平田 義博・久能 俊昭
鈴木 稔・麻生 公・大石 喜六…91(1)

左側大腸癌イレウス症例の治療

神田 裕・蜂須賀喜多男・山口 晃弘
磯谷 正敏・加藤 純爾・松下 昌裕…97(1)

直腸癌根治手術による排尿および性機能障害

吉村 直樹・岡田 裕作・吉田 修
前谷 俊三・戸部 隆吉……………103(1)

悪性線維性組織球症に対する動注化学療法

小川 將・渡辺 正敏・斉藤 和好
笹生 俊一……………243(2)

粥状硬化症による重症虚血肢に対する深大腿

動脈形成術—Limb salvage 症例への適応
岩井 武尚……………247(2)

保存的治療を基本方針としたイレウス自験例

68 例の検討—特に long intestinal decompression tube の意義について—

小関 和士・橋本 正治・望月 泉
中村 達也・森野 一真・桜本 基嗣…255(2)

消化器病変を伴う腹部大動脈瘤の治療—自験

7例の検討—
 松本 賢治・山田 公雄・戸倉 康之
 猪原 則行・長谷川時生・深瀬 達… 383(3)
 術中胆道損傷症例の検討
 牛島 聡・若狭林一郎・杉山 茂樹
 廣瀬 宏一・村田 修一・清崎 克美… 391(3)
 小腸大量出血—自験6例と本邦報告110例の
 検討—
 渡辺 幸康・豊島 宏・板東 隆文
 磯山 徹… 397(3)
 術後高カロリー輸液における血清アルカリ
 フォスファターゼ値の検討—とくに輸液組
 成を中心として—
 奥野 匡宥・頼 明信・長山 正義
 池原 照幸・梅山 馨… 521(4)
 脾嚢胞性病変43例の検討
 原川 伊寿・蜂須賀喜多男・山口 晃弘
 磯谷 正敏・加藤 純爾・神田 裕
 松下 昌裕・小田 高司… 675(5)
 術後の組織学的検索によりはじめて診断され
 た胆嚢癌症例の検討
 山口 晃弘・蜂須賀喜多男・磯谷 正敏
 加藤 純爾・神田 裕・松下 昌裕… 1103(7)
 Pendred 症候群5例の報告と病態について
 の検討
 小松 誠・久米田茂喜・岩浅 武彦
 井之川孝一・堀 利雄・牧内 正夫
 重松 秀一・菅谷 昭・飯田 太
 宮川 信… 1393(9)
 非浸潤性乳癌の超音波断層所見の検討
 安蒜 聡・山野 元・永野 耕士
 呉 正信・正岡 博・大久保春男… 1515(10)
 下肢静脈瘤の硬化療法
 宮内 正之・桜井 恒久・池澤 輝男
 矢野 孝・塩野谷恵彦… 1521(10)
 乳腺腫瘍の超音波診断への多変量解析の応用
 の試み
 速水 啓介・大城 久司・貞本 誠治
 山中 啓司・沖元 達也… 1793(12)
 消化管カルチノイド—腫瘍径とリンパ節転位
 からみた治療方針—
 別府 真琴・福崎 孝幸・三谷 和弘
 藤本 憲一・谷口 積三… 1797(12)
 糖尿病による難治性足部潰瘍を合併した閉塞
 性動脈硬化症例に対する治療経験—血管柄
 付遊離皮膚移植併用について—

明元 克司・富川 正樹・宮沢 秀樹
 横川 雅康・北沢 慎次・上山 武史… 1803(12)
 術後出血に対する経カテーテル治療
 町田 浩道・井戸 邦雄・湯浅 祐二
 平松 京一… 1947(13)
 乳癌の手術成績—予後関連因子としてのエス
 トロゲンレセプターの意義を中心に—
 菊池 暢之・長尾 和治・西村 令喜
 松田 正和・馬場憲一郎・山下 眞一… 1953(13)

〔臨床報告〕

軽移行性S状結腸扁平上皮癌の1例
 船戸 崇史・三島 修・加納 宣康
 多羅尾 信・後藤 明彦・名倉 一夫
 天野 和雄… 107(1)
 術前診断が困難であった腸間膜偽性乳び嚢胞
 の1例
 小松 誠・岩浅 武彦・名米田茂喜
 井之川孝一・堀 利雄・牧内 正夫
 重松 秀一… 111(1)
 大網小網裂孔嚢ヘルニアの1治験例
 樫塚登美男・田中 千凱・伊藤 隆夫
 伴 邦充・坂井 直司・大下 裕夫
 深田 代造・菅野 昭宏… 115(1)
 小腸穿孔をきたした Crohn 病の1例
 松崎 正明・村瀬 正治・赤座 薫
 堀尾 静・佐久間温巳… 119(1)
 高齢者に発生した腹腔動脈起始部圧迫症候群
 の1治験例
 熊本 吉一・小泉 博義・赤池 信
 片山 清文・中村俊一郎・鈴木紳一郎
 南出 純二・小沢 幸弘・末 永 直
 岩崎 博幸・深野 史靖… 123(1)
 肝膿瘍ドレナージ後に肝肉芽腫を形成した1例
 村田 郁夫・高橋 知秀・ハッ橋輝海
 須田 清美・田中 隆・坂部 孝… 127(1)
 乳癌虫垂転移による虫垂穿孔の1剖検例
 杉谷 篤・山下 弘幸・尾畑 秀明
 川上 克彦・村上栄一郎・本多 光弥… 261(2)
 イレウス管を介する小腸X線造影により術前
 に診断のついた閉鎖孔ヘルニアの1治験例
 鍋嶋 誠也・村上 和・布村 正夫
 大森 敏生・山本 尚人・田中 英穂… 265(2)
 Fournier 壊疽の臨床像を呈した重症 Syner-
 gistic Necrotizing Cellulitis の1救命例
 草川 雅之・五嶋 博道・山崎 芳生

苔原 登・太田 正澄・酒井 秀精・・ 269(2)
高圧酸素療法が奏効した上行結腸囊腫様気腫
の1例

原 和人・横山 隆・古田 和雄
安田 清平・山本 和利・清光 義則・・ 275(2)
大網平滑筋肉腫の1例

波頭 経明・田中 千凱・伊藤 隆夫
深田 代造・大下 裕夫・坂井 直司・・ 279(2)
穿孔をきたした小腸クローン病の1例と本邦
報告例の検討

杉本 貴樹・高橋 信之・永井 公尚・・ 411(3)
膝原発と考えられる神経節腫の1例
桑田 克也・米山 千尋・北村 和也
佐々木義文・石井 孝・蒲池 正浩
渡辺 信介・・・・・・・・ 417(3)

胆嚢癌合併 Mirizzi 症候群の1例
原川 伊寿・蜂須賀喜多男・山口 晃弘
磯谷 正敏・加藤 純爾・神田 裕
松下 昌裕・小田 高司・久世 真悟
真弓 俊彦・村上 文彦・中野 哲
山田由美子・・・・・・・・ 421(3)

直腸 Crohn 病の1例
久世 真悟・蜂須賀喜多男・山口 晃弘
磯谷 正敏・神田 裕・加藤 純爾・・ 527(4)
典型的内分泌症状のみられなかった副腎皮質
癌の1例

足達 明・溝口 実・岩井 壽生
柳瀬 晃・周山 秀昭・神代 正道・・ 531(4)
3歳男児の胆嚢結石の1例ー5歳以下胆石症
本邦報告集計19例の検討ー

苔原 登・五嶋 博道・山崎 芳生
太田 正澄・大橋 直樹・草川 雅之・・ 535(4)
後腹膜脂肪腫の中に併存した後腹膜悪性線維
性組織球腫の1例

篠崎 登・安川 繁博・竹村 隆夫
氏家 久・斎藤玻瑠夫・桜井 健司・・ 539(4)
放射線照射後に発生した甲状腺腫・乳癌の1例
内田 賢・南雲 吉則・篠崎 登
細谷 哲男・蛭名 大介・桜井 健司・・ 543(4)

Von Recklinghausen 病に合併した同時性胃
脾重複癌の1例
伊東 文明・福島 駿・広津 明
吉田 力・葉 倫健・富田 裕輔
星子 勝・弓削 静彦・久保 保彦
向坂 健男・中原 俊尚・・・・・・・・ 549(4)

大量下血をきたした脾動脈瘤破裂の1治験例

里見 昭・森田 孝夫・石田 清
岡村 維摩・川瀬 弘一・松本 盛行・・ 555(4)
Tracheobronchopathia osteoplastica の1例

宮澤 秀樹・能登 啓文・中川 禎二
戸島 雅弘・西谷 泰・藤村 光夫・・ 681(5)
大網囊腫の1治験例

柳澤 暁・永田 徹・吉田 忍
黒田 徹・徳安 公之・吉川 良幸
秋田 治之・塚本 伝彦・曾爾 一顕
長尾 房大・・・・・・・・ 686(5)

手術および術後補助化学療法により、経過良
好な、alpha-fetoprotein 産生縦隔胚細胞腫
瘍の1例

大嶋 隆・猪野 睦征・橋口 勝敏
奥野 一裕・綾部 公懿・前田 公・・ 689(5)
胃扁平上皮癌の1例

尾関 豊・林 勝知・鬼束 惇義
鈴木 雅雄・下川 邦泰・・・・・・・・ 693(5)

肺癌からの小腸転移巣穿孔の1例
黒柳 裕・西村 正士・岡本 勝司
藤岡 進・堀尾 茂生・吉田カツ江・・1111(7)
浅大腿・膝窩動脈閉塞を伴う大腿深動脈瘤破
裂の1手術例

安原 洋・重松 宏・尾野 雅哉
杉山 正則・森岡 恭彦・・・・・・・・1117(7)

急速に拡大した右内腸骨動脈瘤の1治験例
遠藤 将光・佐藤日出夫・浅井 徹
松村 正己・小林 弘明・関 雅博
木谷 正樹・能登 佐・・・・・・・・1123(7)

胃良性間葉腫の1例
朝田農夫雄・三浦 和夫・紙田 信彦
岡崎 護・木嶋 泰興・小河原忠彦・・1127(7)
内視鏡的食道静脈瘤硬化療法後に急性腎不全
を来した2症例

吉野 一郎・橋爪 誠・北野 正剛
山賀 博彦・東 秀史・杉町 圭蔵・・1229(8)

乳腺扁平上皮癌の2例
佐々木正寿・川辺 圭一・山脇 優
大村 健二・川浦 幸光・岩 喬・・1233(8)

十二指腸球部に嵌頓した胃体上部平滑筋腫の
1例
西浦 和男・荒川 龍夫・角田 清志
吉田 政之・小杉 光世・安念 有声・・1237(8)

十二指腸の gangliocytic paraganglioma の
1治験例
饗場 庄一・塩崎 秀郎・松本 弘

池谷 俊郎・内田 健二・町並 陸生
 新開 紘子……………1241(8)

Ataxia-Telangiectasia (Louis-Bar 症候群)
 に合併した腸管原発悪性リンパ腫による腸
 重積の1例ー原発性免疫不全症候群に対す
 る手術経験ー
 小田 斉・内山 元昭・平野 豊
 猪熊 泰造・富田 茂・岩下 俊光…1247(8)

上行結腸リンパ管腫の1例
 中村 純一・竹之下誠一・正田 弘一
 藤田 欣一・木村 浩・長町 幸雄…1251(8)

Computed tomography が診断に有用であつ
 た後腹膜消化管穿孔の3症例
 近森 文夫・尾崎 梓・飯塚 育士
 福田 禎治・和田 光巧……………1255(8)

悪性褐色細胞腫の1例
 千賀 省始・小久保光治・松本 興治
 鬼束 惇義・広瀬 一・下川 邦泰…1259(8)

骨・軟骨化性を伴う乳癌の1例
 山本 弘幸・伊藤 末喜・先山 正二
 篠藤 満亮・沼本 敏……………1263(8)

胃十二指腸動脈瘤の1治療例
 呑村 孝之・北口 浩・鈴木 強
 増田 裕久・石原 浩・松浦雄一郎…1399(9)

血中副腎ホルモンの上昇がみられた成人後腹
 膜奇形腫の1例
 大下 裕夫・田中 千凱・伊藤 隆夫
 加地 秀樹……………1405(9)

気管支脂肪腫の1例
 石川 成美・朝隈 貞雄・小路 力男
 色川 正貴・高橋 敦・伴 慎一…1525(10)

内視鏡下の生検鉗子による気道 débridement
 が有効であった重症気道熱傷の1例
 八木 孝仁・松原 長秀・二宮 基樹
 香川 茂雄・田中 利明・松下 幹晴…1529(10)

IIc 型早期胃癌類似胃悪性リンパ腫の1例
 酒徳 光明・橘川 弘勝・平野 誠
 伴登 宏行・斉藤 裕・龍沢 俊彦…1533(10)

肝転移の認められなかった胃の肝様腺癌の1例
 大橋 直樹・五嶋 博道・山崎 芳生
 太田 正澄・草川 雅之・曾我 俊彦…1537(10)

Recklinghausen 病患者に合併した肝冠状間
 膜原発と思われる巨大平滑筋肉腫の1例
 高本 充章・加藤 雅之・藤田 研一
 辻 雅衛・植田 英嗣・坂梨 四郎…1543(10)

17歳男子直腸癌(Rb)の1例

牛島 聡・村田 修一・辻本 優
 廣瀬 宏一・若狭林一郎・清崎 克美…1547(10)

胃出血を繰り返した脾動脈狭窄症の1治療例
 小松 永二・鈴木 博孝・喜多村陽一
 新井田正枝・磯辺 義憲・羽生富士夫…1683(11)

孤立性内腸骨動脈瘤破裂の2治療例
 原 陽一・山家 武・杉山 長毅
 吉野 保之・森尾 哲……………1687(11)

胃癌に合併した黒色表皮腫の1例
 山口 由美・牧野 正人・万木 英一
 阿部 重郎・福庭 克郎・西川 睦彦…1691(11)

いわゆる肺癌肉腫の1例
 伊藤 達朗・奈良坂重樹・柴野 良博
 遠藤 秀彦・八重樫雄一・富地 信和…1807(12)

胃重複症の1手術例
 石川 啓・酒井 敦・富田 正雄
 下田 穂積・津田 暢夫・野口 哲彦…1813(12)

肝動脈塞栓療法(TAE)と肝切除術にて治療
 した幼児の肝芽腫:完治したと思われる1例
 水野 良児・山崎 洋次・安川 繁博
 祐野 彰治・桜井 健司……………1817(12)

後腹膜漿液性囊腫の2例
 矢野 一麿・森田 純二・白井 治
 高槻 春樹・仁木 俊助……………1821(12)

虫垂絨毛腺腫の1例
 石井 芳正・関川 浩司・円谷 博
 野水 整・土屋 敦雄・阿部 力哉…1827(12)

鼠径ヘルニア、心室中隔欠損症を合併した幼
 児期睾丸性女性化症候群の1例
 川田 哲嗣・河内 寛治・小林 博徳
 森田 隆一・荻原 洋司・北村惣一郎…1831(12)

Carotid Sinus Hypersensitivity を呈した頸
 部悪性リンパ腫の1例
 金 祐 鎬・鈴木 一男・熊谷 太郎
 小林 淳剛・児玉 行弘・佐野 光一…1959(13)

空腸に原発した平滑筋芽細胞腫の1例
 三枝 伸二・原口 優清・川崎 雄三
 愛甲 孝・石沢 隆・島津 久明…1963(13)

原発性大網捻転症ー自験1例の報告と本邦報
 告例の分析ー
 新井田 修・松峯 敬夫・梅北 信孝…1969(13)

〔手術手技〕

食道癌術後縫合不全に対する吻合部バルーン
 拡張術の治療効果について
 安永 敏美・山内 皓・福山 訓生

加川隆三郎・沖村 英二・金井 陸行・ 515(4)
臍ヘルニアに対するY字状皮膚切除法
安藤 久實・伊藤 喬廣……………1681(11)

〔外科医の工夫〕

大血管手術における抗血栓性チューブの使用
経験
湯田 敏行・森下 靖雄・田中 紘輝
下川 新二・福田 茂・平 明……………1219(8)
胆道鏡下截石時の大結石除去困難例に対する
一工夫
田中 正喜・六田 暉朗・高谷 信行
湯浅 亮一・南本 智史・井上 権治
門田 康正……………1389(9)

〔境界領域〕

肥満と麻酔
重松 俊之・川添 太郎……………405(3)
中規模総合病院における癌性疼痛対策の紹介
後明 郁男・後藤田弓子・水本 正剛
明石 英男・豊島 博行・上島 秀樹……………1223(8)

〔外科系研究会推薦論文〕

肝癌手術の限界と外科医の工夫—いわゆるサ
ンドウィッチ療法を中心として—
今岡 真義・佐々木 洋・柴田 高
古河 洋・福田 一郎・石川 治
大東 弘明・甲 利幸・小山 博記
岩永 剛……………1939(13)

〔最近の話題〕

人イヌ糸状虫症とその免疫診断
吉村 裕之……………1675(11)

〔Spot〕

アメリカにおける血管内皮細胞の培養と応用
進藤 俊哉……………70(1)

〔Report from Overseas〕

50例のBuerger病に対する自家遊離大網移
植術—成績と手技に関する検討—
陳 立章……………1095(7)

〔カラーグラフ〕

〈Practice of Endoscopy〉胆道内視鏡シリーズ
術後胆道鏡(その2)

—手技的事項を中心として—
山川 達郎……………13(1)
遺残結石症例に対する術後胆道鏡
山川 達郎……………143(2)
肝内結石症に対する術後胆道鏡(その1)
—手技的事項を中心として—
山川 達郎……………297(3)
肝内結石症に対する術後胆道鏡(その2)
—症例を中心として—
山川 達郎……………437(4)
経皮経肝の胆管鏡(その1)
—手技的事項を中心として—
山川 達郎……………571(5)
経皮経肝の胆管鏡(その2)
—症例を中心として—
山川 達郎・平井 淳……………1001(7)
経皮経肝の胆管鏡(その3)
—良性胆管狭窄の治療：症例を中心として—
山川 達郎・平井 淳……………1141(8)
経皮経肝の胆管鏡(その4)
—悪性胆道疾患の診断と治療：症例を中心
に—
山川 達郎・平井 淳……………1279(9)
経皮経肝の胆管鏡と総括
山川 達郎・平井 淳……………1421(10)
〈Practice of Endoscopy〉食道内視鏡シリーズ
食道色素内視鏡検査法
吉田 操・室井 正彦・門馬久美子
榊 信宏……………1563(11)
生検と切除標本
板橋 正幸・広田 映五・張 霖……………1707(12)
食道表在癌—粘膜癌
西澤 護……………1846(13)

〔座談会〕

胆道疾患の術中精査をどうするか
内村 正幸・高田 忠敬・松代 隆
小山 研二……………73(1)
新しい経腸栄養の時代を迎えて—現状と展望
碓井 貞仁・畠山 勝義・中島 泰子
岡田 正……………1658(11)

〔鼎談〕

消化性潰瘍—薬物療法 vs 手術療法
西元寺克禮・杉山 貢・島津 久明……………1485(10)

〔連載・イラストレイテッドセミナー・
一般外科手術手技のポイント〕

(Lesson 8) 乳房切断術	
小越 章平	65(1)
(Lesson 9) 胆嚢摘出術	
小越 章平	229(2)
(Lesson 10) 胃腸吻合術	
小越 章平	365(3)
(Lesson 11) 胃切除術におけるリンパ節郭清	
小越 章平	499(4)
(Lesson 12) 胃切除術(良性疾患)	
小越 章平	661(5)
(Lesson 13) 甲状腺切除術	
小越 章平	1087(7)
(Lesson 14) 腸瘻造設術	
小越 章平	1203(8)
(Lesson 15) イレウス	
小越 章平	1381(9)
(Lesson 16) ドレナージ	
小越 章平	1499(10)

〔連載・研修医セミナー・
一般外科手術記録の書き方〕

(Lesson 1) 一般的注意	
小越 章平	1649(11)
(Lesson 1) 一般的注意(つづき)	
小越 章平	1785(12)
(Lesson 2) 虫垂切除術	
小越 章平	1924(13)

〔Case に学ぶ・一般外科医のための
血管外科応用手技〕

肺尖部胸壁浸潤肺癌の手術	
橋本 正人・田辺 達三	87(1)
門脈浸潤を伴う腓頭部癌の手術	
加藤 紘之・田辺 達三	237(2)
肺切除を伴う上部胆管癌根治術(I)	
一拡大肝右葉切除術一	
加藤 紘之・田辺 達三	377(3)
肝切除を伴う上部胆管癌根治術(II)	
一肝左葉切除術および中心部肝切除術一	
加藤 紘之・田辺 達三	507(4)
頸動脈浸潤を伴う甲状腺癌の手術	
橋本 正人・田辺 達三	669(5)
術中血管損傷の処理	

安田 慶秀・田辺 達三	1081(7)
大血管浸潤を伴う肺癌の手術	
橋本 正人・岡安 建至・田辺 達三	1211(8)
四肢軟部悪性腫瘍広範合併切除術	
一患肢温存手術一	
安田 慶秀・田辺 達三・俣野 順	
明神 一宏	1375(9)
外傷性肝破裂に対する肝切除術	
加藤 紘之・田辺 達三・金谷聡一郎	
菱山 真	1507(10)
肝部下大静脈閉塞症に対する下大静脈一	
右心房バイパス術	
久保田 宏・村上 忠司・青木 秀俊	
一色 学・赤坂 伸之・安田 慶秀	
田辺 達三	1667(11)
術後感染による仮性肝動脈瘤破裂の処置	
熱田 友義・伊藤 紀之・子野日政昭	
加藤 紘之・田辺 達三	1780(12)
血管外科手技の応用に伴う血管心臓合併症の	
予防対策	
田辺 達三・安田 慶秀・加藤 紘之	
佐久間まこと・下沢 英二	
児嶋 哲文	1931(13)

〔老医空談〕

これからの外科学会	
斉藤 湊	1386(9)
人間的看護一私のために	
斉藤 湊	1652(11)
外科医の鬼手	
斉藤 湊	1788(12)
臨床外科医とエチケット	
斉藤 湊	1928(13)

〔Invitation〕

〈第 88 回日本外科学会総会見どころ、聴きど	
ころ〉将来をみすえた特別パネルディス	
カッション「日本外科学会のこれから」に	
期待	
武藤 輝一	373(3)

〔文献抄録〕

腹部大動脈グラフトの遅発性穿孔	
内田 智夫	234(2)
壊死性腸炎における腸瘻造設術一手術法と閉	
鎖時期についての分析	

星野 健	420(3)
非開胸食道拔去術：縦隔出血の危険性は？	
安藤 暢敏	622(5)
原発性胆汁性肝硬変および原発性肺高血圧症	
に対する肝心肺移植	
中安 邦夫	1092(7)
直腸癌に対する術前照射療法の遠隔成績とその合併症	
桜井 洋一	1161(8)
脾摘後の早期合併症	
井上 聡・吉野 肇一・石引 久弥	1504(10)
腫瘤を触知しない乳癌の意義とステージ分類	
内海 俊明	1655(11)
胎児肝補助移植：腹腔内モデルでの機能評価	
広部 誠一	1790(12)
腹部大動脈瘤の術前評価における磁気共鳴画像と血管造影の比較	
掛札 敏裕	1891(13)

〔表紙の心〕

(1) 科学の前に姿を見せる自然	
大村 敏郎	110(1)
(2) パリの旧医学部館	
大村 敏郎	176(2)
(3) 初代王立外科アカデミー会長ジャン・ルイ・プティの横顔	
大村 敏郎	335(3)
(4) コルドリエ通りと外科史	
大村 敏郎	451(4)
(5) サン・コーム外科医組合の円型講堂	
大村 敏郎	685(5)
(6) 聖コームたちの脚移植手術	
大村 敏郎	1048(7)
(7) フランス外科アカデミーのマーク	
大村 敏郎	1232(8)
(8) 医学アカデミー館のヒポクラテス像	
大村 敏郎	1315(9)
(9) 医学アカデミーの会長たち	
大村 敏郎	1455(10)
(10) オテル・デュ病院のデュピュイトラン像	
大村 敏郎	1640(11)
(11) リスフランの墓	
大村 敏郎	1811(12)
(12) 元祖ラレーの救急車	
大村 敏郎	1958(13)

〔書 評〕

蜂須賀喜多男・中野 哲(編)「急性腹症の診断と治療」	
牧野 永城	37(1)
河西信勝「甲状腺切除のテクニックと患者管理」	
桜井 健司	72(1)
坂元吾偉「乳腺腫瘍病理アトラスー進行・再発乳癌の対策」	
山科 元章	214(2)
J. ニコルス・R. グラス(寺本龍生・武藤徹一郎監訳)「大腸肛門病学ー診断および外来における処置」	
武藤 輝一	235(2)
幕内雅敏(編著)「Abdominal Intraoperative Ultrasonography」	
戸部 隆吉	330(3)
M. J. Cousins・G. D. Phillips(編)(諏訪邦夫監訳)「急性痛のマネジメント」	
村上 誠一	404(3)
Sivak「Gastroenterologic Endoscopy」	
比企 能樹	498(4)
Maruyama・Kimura(編)「Review of Clinical Research in Gastroenterology」	
岡部 治弥	506(4)
出月康夫・高瀬靖広(編)「図解食道静脈瘤硬化療法」	
田辺 達三	513(4)
出月康夫・高瀬靖広(編)「図解食道静脈瘤硬化療法」	
市田 文弘	679(5)
武藤輝一・田辺達三(編)「標準外科学」第5版	
森 昌造	1013(7)
新外科学大系・第7巻「外科栄養」	
山本 貞博	1086(7)
砂原茂一「臨床医学研究序説ー方法論と倫理」	
川上 武	1093(7)
於保健吉・雨宮隆太「肺癌診療マニュアル」	
岡田 慶夫	1174(8)
D. Campbell・A. A. Spence(森田茂穂監訳)「麻酔・蘇生・集中治療入門」	
鈴木 太	1217(8)
フランソア・サルダ(森岡恭彦訳)「生きる権利と死ぬ権利」	
長谷川 泉	1218(8)
有水 昇・高島 力(編)「標準放射線医学」	

第3版		Zollinger/Zollinger「Atlas of Surgical Ope-	
片山 仁	1331(9)	ration」第6版	
D. P. Green(編)「Operative Hand Surgery」		牧野 永城	1654(11)
改訂第2版		有水 昇・高島 力(編)「標準放射線医学」	
佐藤 勤也	1347(9)	第3版	
P. A. Tumulty (日野原重明・塚本玲三訳)「よ		小塚 隆弘	1791(12)
き臨床医をめざして—全人的アプローチ」		波利井清紀「外科医のための形成外科基本手	
阿部 正和	1388(9)	技の要点」	
下里幸雄(編)「肺癌の生検と細胞診」		出月 康夫	1877(13)
澤田 勤也	1442(10)	武藤輝一・田辺達三(編)「標準外科学」第5	
於保健吉・雨宮隆太「肺癌診療マニュアル」		版	
末舛 恵一	1524(10)	島津 久明	1923(13)